

06年9月保津峡強化合宿報告書

作成者 篠原
作成日 2006/09/25

期間 : 2006/09/15～2006/09/16
場所 : 保津峡
宿泊地 : 馬堀
目的 : ラダーマンの育成

参加者

CL、会計	篠原雄介	4回	A型
SL、装備	内藤友人	2回	A型
救急	橋崎裕幸	1回	B型
記録	日下雄介	1回	A型
ゲスト	吉本亜由美	京大	A型

天候

15日夕方 曇り
16日朝 小雨
昼 曇り時々雨
夕方 雨

天気予報では15日の深夜から雨が続くようで心配したが、16日夕方まではほとんど気にならない小雨がたまに降る程度で晴れ間も見られた。片づけを始めたころに本降りとなった。

水位

保津峡水位観測所

16日	6:00	+53cm
	17:00	+51cm

日吉ダム

16日	6:00	98%
	17:00	97%

日程

9/15(金) 準備 設営

- 18:00 (篠原、内藤、橋崎、日下) 部室集合、装備搬出
- 19:00 篠原、買出しの後、京都駅でレンタカー受け取り
- 19:30 レンタカー産大着、装備詰め込み
- 20:00 産大出発 内藤はバイク
- 21:00 一号線沿いの王将で夕食
- 22:00 馬堀ベース着 設営
- 23:00 花火をして遊ぶ
- 24:00 就寝

9/16(土) 第一～第三降下 撤収 片付け

- 07:00 起床 朝食 (食パン、ハム、チーズ、牛乳、紅茶)
降下準備
- 07:50 J R馬堀駅で吉本さん合流
- 08:30 第一航下
- 10:00 第一降下終了
- 11:00 第二航下
- 13:00 第二航下終了
ローソンで昼食
- 14:00 第三航下
- 16:00 第三航下終了
片付け
- 17:00 撤収
- 19:00 産大着
装備洗い、片付け
明日の比良山の計画
- 21:00 解散

諸報告

・馬堀ベースについて

今回は試験的にベースを馬堀に置いた（通常のラフト出発地）

保津峡駅ベースとの比較を行うと

メリット

- ・地面が平らで寝やすい
 - ・コンビニ、スーパーが近く車で容易に買出し可能
- ・テント真横まで車を持ってこれるため、設営と荷物の保管が容易
- ・朝起きたらすぐ降下可能
- ・ポンプをラフトで運ぶ必要が無い ラフト準備を待機メンバーも手伝える
- ・携帯全メーカー通話可能

デメリット

- ・地面が非常に細かい砂で成る砂地であるため水はけが悪く、雨が降ると大きな水たまりがたくさんできる。また晴天時も砂埃がひどく装備が汚れる
 - ・最寄のトイレが約1キロ先のコンビニであるため、遠く気を使う
 - ・食器洗い用の水場がない 保津川で洗うこともできるが環境保護上多少問題あり
- ・ラフトカンパニーもベースとするほか一般客で昼は混雑する

・ラダーマンの育成

今回の目的はラダーマンの養成であった

すでに長良川での経験もある内藤は保津峡全行程を漕げるようにメインでラダーを行い、初心者橋崎、日下はまずラダーに慣れることを目的に瀧場での左右旋回とフェリーグライド、および簡単な瀬の体験を行った。

以下その所見

内藤 50cm 増水にもかかわらずわずかなミスで全行程クリアできたため保津峡に関しては問題ないと思う ただもう少し練習が必要 流れを読む力と、レスキューなどの知識をつけていく必要がある

橋崎 瀧場での舵取りと軽い瀬を経験 まだ始めたばかりなので、まずは間違いなく左右に曲げること、効率のよい漕ぎ方を見つけることが必要

日下 初めてだが軽い瀧場をうまく漕いでいた 間違いなく左右に曲げることとを覚え、経験をつんでいって欲しい

・交通

一号線の亀岡～京都間は夕方非常に混雑し、おもわぬ時間をとった ばあいによっては林道のほうが早いかもしれない

体育館横のゲートは乗り入れ許可を取っている場合も閉まっている場合が多い、体育館事務室からは歩道に乗り上げて通過せず事務室に開けるよう連絡しるとの指摘がきているが、学生部によると本来こちらの通過時間にあわせてあらかじめゲートを開けることになっているとのこと、現在交渉中。

・保津峡水位

+50cm 代の増水は瀬のボリュームが増えこそすれ流れが大きく変わることはなかったので通常の漕ぎ方で進むことができた。保津峡はだいたい+100cm を超えると遊船のコースを作る突堤に水がかぶりコースが変化、特にタクローの瀬に強烈なウェーブが発生すると言われるが今回の目測と一昨年>+130cm 時の降下経験からそれは正しいと思う。

ただ今回も水のボリュームが多いため、特にタクローの瀬で右岸の岩にラップする可能性があると思われた。

保津峡は上流の日吉ダムにより水位が調整されているが、これはあまり貯水量が多くないようで、今回も貯水率が 95%に達しており、保津峡の水位の増減は激しかった

装備

団体装備: ラフトボート、パドル(6)、PFD(6)、ヘルメット(6)、ウェットスーツ(6)、ポンプ(2)、スローロープ(2)、背負子、防水バッグ
ステラリッジ6テン、ペグ(10)、ランタン、ハンマー(2)、ガス缶(2)、バーナー(1)、バーナーシート(1)、風防(1)、紅茶、コップ、救急セット、ゴミ袋、レジャーシート、ロープ、ビニール紐

消耗 ガス缶多少使用

会計報告

レンタカー代	<u>5,050 円</u>
ガソリン代	<u>2,000 円</u>
JR 切符(保津峡～馬堀)180×15=	<u>2,700 円</u>
食料費	<u>1,247 円</u>
計	<u>10,997 円</u>

交通手段

篠原、橋崎、日下、団体装備
内藤
吉本

三菱レンタカー ek ワゴン×1
個人バイク ×1
JR

雑感

内藤

今回の合宿は増水時初めての舵取りということで、思った以上のハイスピードと瀬の中での操船の難しさに序盤は戸惑い緊張していましたが、慣れてくると楽しく感じられました。この合宿により自分は保津での舵取りを何とかできるようになり、一回生にラダーの基本を教えられたことは次回以降の合宿に大きく役立っていくと思います。また今回試した馬堀ベースも雨天時以外なら十分使えることが分かったのでまた機会があれば使いたいです。

今回の合宿は問題なく終わりましたが、これからの合宿でも事故の無いよう十分注意していきたいと思います。

橋崎

今回の保津峡合宿では、多くのことを学ばせてもらった。

ひとつは、初めてラダーを経験できたことだ。

一度舵取りを経験することで、水の流れに対して常に意識が向かうようになったし、操船のメカニズムについても理解を深めることができた。

もうひとつは、所謂ボディラフティングを通じて、川の恐ろしい部分を体感することができたことだ。

簡単な瀬ではあったが、それでも PFD 無しでは溺れていただろう。

自然の恐ろしさを知ると同時に、安全には常に気を配るべきなのだと理解することができた。

今回学んだことを活かしつつ、これからも技術の向上に努めたい。

日下

今回の保津峡はいい感じに増水しててかなり楽しかったです。しかも 3 回も降下できたのがよかったです。ただ飛び込みは怖いですね、早いとこ高所恐怖症を克服したいです。あとラダーにも挑戦させてもらいました。少しコツをつかんだ感じです。でも方向転換のときは一瞬戸惑いました。

今度の保津峡も楽しみです。いい感じに増水しててほしいです。

吉本

9/16に保津に行かないかと連絡をもらった。前から保津には一度行きたいと思っていたので、喜んでお願いすることになった。

当日朝8時、馬堀駅にて京産大と合流する。一回目は先頭・右を担当。ラフトは初めてで、水をつかむこつにしばらく慣れない。川は想像以上に流れが速く、瀬が連続して迫力があつた。二回目は左と交代などもした。三回目も同じく先頭。途中でラダーを少ししてみたが、二人艇と違い力があると感じた。最後の瀬で素流れしたが、思った以上にきつく川の怖さを再確認した。京産大の皆さんのおかげで、楽しい経験をさせてもらった。ありがとうございました。